

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	化粧品検定対策講座 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	通年 火・3限	教室名	4校舎502
担 当 教 員	西岡利子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
日本化粧品検定2級に向けての対策講座です。2級範囲では皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識を習得します。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点×0.7+出席点20点+平常点(小テスト)10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本化粧品検定3・2級対策テキスト						
《授業外における学習方法》						
テキスト及びプリントの復習、練習問題の繰り返し						
《履修に当たっての留意点》						
検定合格には毎回の授業の積み重ねが大切です。分からない所は遠慮なく早めに聞きに来てください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の美容知識を確認することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	【3級範囲】ましがえがちな美容知識をチェック クレンジング～スペシャルケア			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の美容知識を確認することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	ましがえがちな美容知識をチェック お手入れの基本手順～自分に似合う色			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の美容知識を確認することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	ましがえがちな美容知識をチェック 唇の皮むけ～日本と海外の化粧品			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	3級web試験合格・【2級範囲】皮膚と肌について正しい構造や仕組みを理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	皮膚・肌について知ろう 皮膚の構造・皮膚のしくみと働き(皮脂膜まで)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚と肌について正しい構造や仕組みを理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう	
		各コマにおける授業予定	皮膚・肌について知ろう 表皮のターンオーバー～皮膚の機能			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌の手入れと正しい知識について理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう
		各コマにおける授業予定	肌の手入れと正しい知識 肌タイプと見分け方～肌悩みの原因とお手入れ(乾燥・毛穴・ニキビ)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌の手入れと正しい知識について理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう
		各コマにおける授業予定	肌の手入れと正しい知識 肌悩みの原因とお手入れ(シミ・くすみ・くま・しわ・たるみ)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌の手入れと正しい知識について理解、説明することができる。	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておきましょう
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	化粧品検定対策講座 I		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	45 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	通年	教室名	4校舎502
担 当 教 員	西岡利子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
日本化粧品検定2級取得に向けての対策講座です。 2級範囲に加えて、化粧品の成分や製品の種類・働きを中心に化粧品の歴史や法律まで幅広い知識を学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点×0.7 + 出席点20点 + 平常点(小テスト)10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本化粧品検定 2級対策テキスト コスメの教科書 オリジナルプリント						
《授業外における学習方法》						
テキスト及びプリントの復習を行きましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
日本化粧品検定1級取得に向けての対策講座です。不明点は授業前後に質問してください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌(表皮)の仕組みを説明することができる	配布資料 テキスト	テキストに目を通しておく。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、皮膚概要、表皮について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌(真皮)の仕組みを説明することができる①	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
		各コマにおける授業予定	真皮の構造について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌(真皮)の仕組みを説明することができる②	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
		各コマにおける授業予定	真皮の働きについて、その組織について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌タイプの原因とお手入れを説明することが出来る①	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
		各コマにおける授業予定	肌タイプの見分け方と、乾燥、ニキビのトラブル			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌タイプの原因とお手入れを説明することが出来る②	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。	
		各コマにおける授業予定	肌荒れ、毛穴のトラブル			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌タイプの原因とお手入れを説明することが出来る③	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	しみ、くすみのトラブル		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌タイプの原因とお手入れを説明することが出来る④	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	くま、シワ、たるみのトラブル		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨格に合わせたメイクアップを理解し説明出来る①	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	ベースメイクアップテクニック		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨格に合わせたメイクアップを理解し説明出来る②	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	ポイントメイクアップテクニック、パーソナルカラー		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌を劣化させる要因①	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	肌を劣化させる外的要因について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌を劣化させる要因②	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	肌を劣化させる内的要因について、外的+内的要因について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣美容について理解し、説明することが出来る①	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	睡眠、食事と飲み物、栄養など		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣美容について理解し、説明することが出来る②	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	運動、運動の種類、入浴について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉・ツボ・リンパについて理解し説明できる	配布資料 テキスト	復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	表情筋や美容に役立つツボ、リンパの概念		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期試験		復習及び自身の持っているコスメを確認。
		各コマにおける授業予定	後期試験の実施		